用語等の解説

重大事故等対策の有効性評価

既設の安全対策が働かない場合でも、新たに整備した重大事故等対処設備により、炉心損傷や格納容器破損を防止できることを、計算機の解析により確認すること。

火災区域及び火災区画

火災区域とは、火災が発生しても、その影響が他の区域に影響が及ばないように、耐火壁により囲まれた区域である。

火災区画は、火災区域の中に、同じ安全機能を持つポンプが複数ある場合、一方のポンプの火災が他方のポンプに影響しないよう、壁等で分離した区画。

設備の容量

設備の能力を表す、ポンプの時間あたりの送水量やタンクが保有できる水量等のこと。

免震重要棟

免震構造で、事故時の指揮所となる緊急時対策所を備えた施設。津波の影響を受けない高台に設置する。

以上